



広報まちづくりかなうら

第26号 令和7年3月1日 金浦地区まちづくり自治協議会広報委員会

今回は、令和6年10月、金浦地区まちづくり自治協議会の「企画部会」が中心となっていきました「**金浦地区まちづくり自治協議会アンケート**」の結果がまとまりましたので、ご紹介させていただきます。金浦地区の皆様には、たいへんお忙しい中、アンケート調査にご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

この結果を今後の協議会活動の実施に活かしてまいります。

◆アンケート調査の概要

- 実施時期 令和6年10月
* 2回目（1回目：平成25年）
- 実施目的 時代に合わせた新しいまちづくり活動に取り組むことにより、住みよい地区づくりを図るため、金浦地区の皆様から、ご意見をいただくことを目的として実施しました。
- 対象者 金浦地区民（中学生以上）
- 調査方式
〈一般〉アンケート用紙の提出 or QRコードによる回答
〈中学生〉学校での回答
- 回答者数 359名
- 設問数 15項目

回答者の内訳

《年齢》

中学生	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代~	合計
81	9	8	18	32	38	79	56	38	359

《地区》

金浦鉄北	金浦鉄南	生江浜	旭が丘	吉浜	大河	相生	合計
39	62	39	61	97	21	40	359

《世帯構成》

単身(1人暮らし)	夫婦(2人暮らし)	親子(2世代)	親子(3世代)	その他	合計
31	69	178	60	21	359

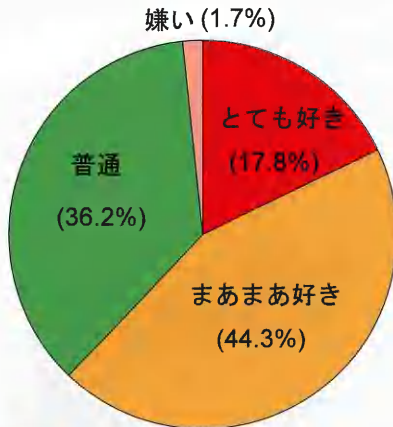
調査結果の“ツボ”

今回のアンケートの特徴は、中学生の皆さんに、調査にご協力いただいたことです。その結果、次の2つの項目について、注目すべき結果が明らかとなりました。

★あなたは、金浦地区が好きですか？

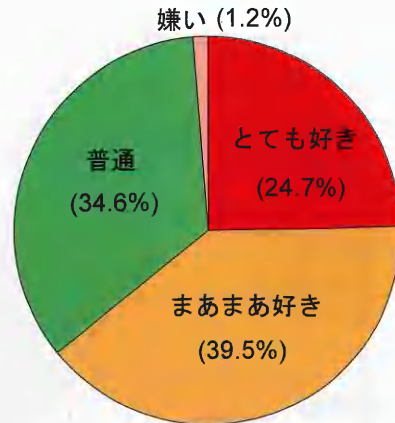
全数

とても好き	64 (17.8%)
まあまあ好き	159 (44.3%)
普通(どちらともいえない)	130 (36.2%)
嫌い	6 (1.7%)



中学生

とても好き	20 (24.7%)
まあまあ好き	32 (39.5%)
普通(どちらともいえない)	28 (34.6%)
嫌い	1 (1.2%)



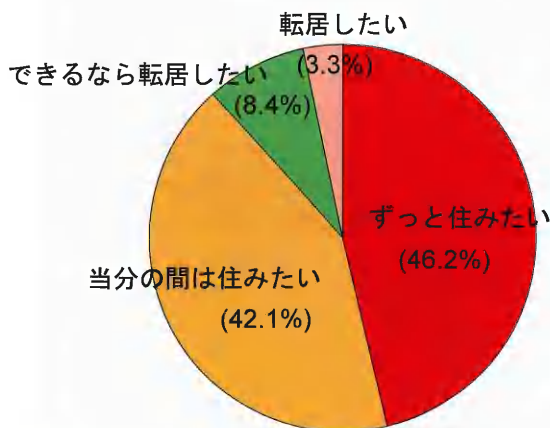
読み解く

★「とても好き」と「まあまあ好き」を合計すると、全体で62%、中学生でも64%と、年代による大きな差異はないと認められます！

★あなたは今後も、金浦地区に住み続けたいと思いますか？

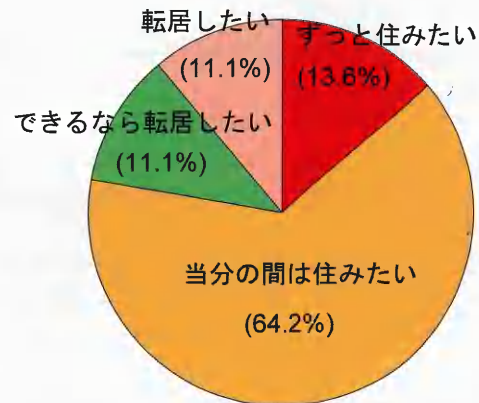
全数

ずっと住みたい	166 (46.2%)
当分の間は住みたい	151 (42.1%)
できるなら転居したい	30 (8.4%)
転居したい	12 (3.3%)



中学生

ずっと住みたい	11 (13.6%)
当分の間は住みたい	52 (64.2%)
できるなら転居したい	9 (11.1%)
転居したい	9 (11.1%)



読み解く

★「ずっと住みたい」と思う人は、全体では約半数の46%ですが、中学生では、7人に1人の14%と年代による大きな差異があると認められます！

主な調査結果（全数）

① ご近所や地区が **力になってくれている** と思いますか？

とても力になっている	82 (22.8%)
まあまあ感じる	156 (43.5%)
普通	109 (30.4%)
全く感じない	12 (3.3%)

② **近所とのつきあい** について悩みなどはありますか？

悩みや要望はない	216 (60.1%)
地区での仕事、行事が多い	71 (19.8%)
わずらわしいと思うことがある	34 (9.5%)
話し相手や仲間がほしい	38 (10.6%)

③ 「**金浦地区まちづくり自治協議会**」を知っていますか？

よく知っている	45 (12.5%)
ある程度知っている	129 (35.9%)
言葉は聞いたことがある	132 (36.8%)
全く知らない	53 (14.8%)

④ 「**広報まちづくりかなうら**」を見えていますか？

必ず見ている	80 (22.3%)
たまに見ている	104 (28.9%)
興味ある記事のみ見ている	76 (21.2%)
見たことがない	99 (27.6%)

★「金浦地区まちづくり自治協議会」の施策や活動の中で、**重要と思うもの**は何ですか？

「重要」上位

①個別避難計画（高齢者等一人で避難できない人の支援）	185
②子どもたちの交通安全対策としての通学路整備等	179
③青色パトロール等下校時を中心とした児童の見守り活動	158
④防災・減災講習会の実施	152
⑤自主防災会の防災資機材整備支援	146

「重要」＋「やや重要」上位

①子どもたちの交通安全対策としての通学路整備等	305
②防災・減災講習会の実施	302
③個別避難計画（高齢者等一人で避難できない人の支援）	301
④青色パトロール等下校時を中心とした児童の見守り活動	299
⑤自主防災会の防災資機材整備支援	285

★日常生活の中で、**不安に感じていること、困っていること**は何ですか？

トップ10

①コンビニ・商店が少なく、日常の買い物が不便なこと	130
②有害鳥獣のこと	111
③災害への備えや避難に関すること	101
④空き家が多いこと	93
⑤身近に若い人が少ないこと	90
⑥医師や診療科が少ないなど、医療体制に不便を感じる	72
⑦生活道路などの環境整備に関すること	68
⑧金銭的な不安（収入の減少、将来の生活費など）	63
⑨買い物・通院などの移動手段（交通手段）に関すること	55
⑩新たな居住者が少ないこと	55

【ご意見】＊自由記入欄にお書きいただいたまちづくりに関するご意見です。ありがとうございました。

- 少子高齢化が顕著で、空き家は増えるなど不安はあるが、頑張っている方がおり、ありがたい。
 ○地域一丸となって、日頃から活動ができれば、コミュニケーションがとれて、災害時等に助け合える。
 ○地域行事や関係性が衰退しており、現状にあった組織づくりや活動を考え直す時期に来ている。
 ○人口減少を抑えるため、子育てや高齢者支援の充実が必要と思う。
 ○若い人たちが地区等のボランティア活動に関心が薄い。 ○定期的な野焼きに困ることがある。
 ○金浦は好きですが、津波など災害面で少し不安がある。 ○スーパーがないため不便を感じている。
 ○子どもが遊べる場所や買い物ができる場所を作ってほしい。 ㊥もっと都会にしてほしい。
 ○青パトや通学路整備のおかげで、安心して通学できている。 ㊥地区民体育大会は楽しくて良い。
 ㊥車が一時停止しないことが不満である。 ※○：一般の方のご意見 ㊥：中学生のご意見

まち協 topic 避難所運営訓練

- 災害発生時の「逃げ遅れゼロ」を目指して、防災計画に基づき、防災拠点施設となっている金浦公民館において、避難所運営訓練を開催しました。
- 今回 初めて各地区の個別避難計画の要支援者と支援者の方にご参加いただき訓練を行いました。ご協力たいへんありがとうございました。

開催日時 令和7年1月19日（日）9時～10時30分

開催場所 金浦公民館

参加者数 73名 個別避難計画の要支援者と支援者16名

笠岡市2名 警察署3名 公民館2名 消防団8名 まち協等42名



個別避難計画の要支援者と支援者の皆さんです
ありがとうございました

※個別避難計画：災害時に自ら避難することが困難な高齢者や障がい者などの要支援者について、避難支援を行うための計画



筒井会長 挨拶



高橋部会長 概要説明



受付 <今後に向けて> 実際は一度に多くの方が来られる その訓練が必要



暖房

<今後に向けて> 停電するとファンヒーターではなく、ストーブや毛布が必要



<今後に向けて> 大勢の中で要支援者を見つけることができるか
体調不良の方に対応するため 救護班が必要ではないか



広報 消防団の皆さん
ありがとうございました

編集後記

「まち協」では、アンケート結果をもとに、“時代に合わせたまちづくり活動”とは何かについて考えていきたい
と思います。今後とも、皆様からのより一層の「まち協」へのご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。